

喪主挨拶(子) お見舞いのお礼も入る場合

本日はおたじろいよう、また遠路えんろにもかかわりませず、父の葬儀にお運び下さりまして、まことにありがとうございますと挨拶しました。

父生前は何かとお世話になり、誠にありがとうございました。また、本日は多くの皆様方にお見送りいただき、父もさぞかし喜んでいいることと思います。故人になりかわりまして厚くお礼申し上げます。

父は定年後は町内会の役員などをお引き受けして、毎日を楽しく暮らしていましたが、ちょうど五年前に胃腸を患ひんいまして、以来入退院を繰り返しておりましたが、半年前から寝たつきりとなりました。一昨日家族の見守る中、病院にて息を引き取りました。七十八歳でございました。入院中には皆様方から心強い励ましや、お見舞いを頂き本当にありがとうございます。これからは残された私たち一同、力を合わせて頑張っていく所存でございます。

父なきあとも変わるごとのなにご指導しうびんも厚情を賜りますよと心よりお願い申し上げます。出棺しゅくわんに先立みなちらまじりて一言お礼を申しのべ、ご挨拶に代えさせていただきます。本日はご心合せがございました。